

## 研修11 アクティビティについて②

### ○研修のねらい

「研修11」では、様々な例を通してアクティビティについて理解し、授業の中でどのように生かしていくかを学ぶことや、実際にアクティビティを体験することを通して、授業のねらいや児童の実態に合わせて効果的なアクティビティを選択し、実践することができるようになることを目指します。

### 外国語を学ぶ雰囲気をつくる～ウォームアップ～

児童の外国語を学ぶ気持ちを高めるために、授業の始めに“Are you ready?” “Yes!” のような掛け合いをしたり、今の気分を話したり、簡単なゲームをしたりするなど、外国語を学ぶ雰囲気づくりをします。

【始まりの挨拶の例】(T: 教師 C: 児童)

T: Are you ready? (教師が元気に言うことで児童を盛り上げるようにする)

C: Yes!

T: Hello, everyone.

C: Hello, Mr./Ms. ○○ (名前).

T: How are you?

C: I'm fine (自分の気分), thank you. And you?

(And you? を付け加えることが大切。そのことで、相手意識をもたせる)

T: I'm fine (自分の気分), thank you.

T: How is the weather today?

C: It's sunny (今の天気).

T: Good. What day is it today?

C: It's Monday (曜日).

T: What's the date today?

C: It's June 24th (日にち).

T: Very good (児童が言えたことを称賛する言葉). Let's start today's lesson.

※児童の実態に合わせて、It's sunny の後に and hot/and cold/and humid 等を付け加えて表現することも考えます。

## ○好きな物を尋ねたり答えたりするアクティビティの例

アクティビティを選択するときは、学習の目的や児童の実態に合わせる事が大切です。例では、教師が児童に問い掛けていますが、状況に応じて児童が問題を出すこと等も考えます。

【例1】好きな物や好きでない物について、尋ねたり答えたりするようやり取り

- ・好きな物や好きでない物についての質問に答える。

T : Do you like dogs?

C : Yes, I do./No, I don't.

【例2】好き嫌いクイズ

- ・教室を左右2つに分けて、○と×のカードを掲示する。

T : Do you like tomatoes?

C : 好きなら、“Yes, I do.”と言って、○側に移動する。

嫌いなら、“No, I don't.”と言って、×側に移動する。

【例3】好きな物についての質問

- ・好きな色や動物等についての質問に答える。

T : Do you like yellow?

C : Yes, I do.

T : What color do you like?

C : I like blue.

T : What animal do you like?

C : I like lions.

【例4】好きな物当て 3ヒントクイズ

- ・好きな物の特徴等の3つのヒントから、好きな物は何かを答える。

T : Hint No.1. It is red.

Hint No.2. It is sweet.

Hint No.3. It is a fruit.

What is it?

C : It's an apple.

T : That's right.

【例5】インタビューゲーム、ビンゴゲーム

①動物の絵が印刷されたビンゴカードを配る。(3マス×3マス等)

②ペアを探してゲームを行う。

C1/C2 : Hello. Rock, scissors, paper, one, two, three! (じゃんけん)

勝った児童 : What animal do you like?

負けた児童 : I like □□□. (自分の好きな動物)

(勝った児童は自分の手持ちのカードにその動物の絵があれば、印をつける。)

C1/C2 : Thank you. See you.

## 研修11 アクティビティについて②


### ○事前に準備する物

- ・研修11「解説編」(P58、59)
- ・絵カード(例:動物、国旗)等、アクティビティに必要な教材

### ○研修の留意点

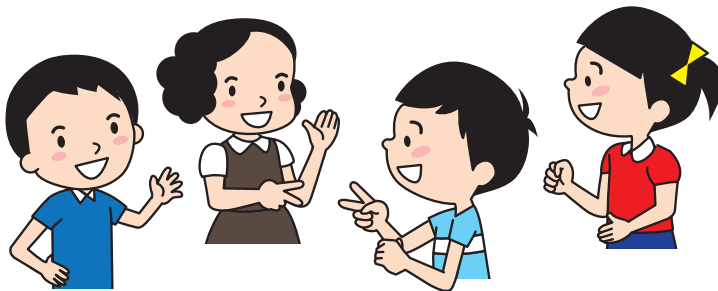
- ・研修対象者がアクティビティを楽しむだけでなく、その意図も伝え、目的をもって活動できるようにすること。

### ○研修例(45分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
10分	○授業での導入について理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ○外国語を学ぶ雰囲気をつくる ～ウォームアップ～について説明する。 <b>【活動例】</b> ・ペアになり、例を見ながら発話する。	・本書P58
30分	○授業で活用できるアクティビティを知ること。  ○アクティビティを体験すること。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">絵カード例</div> 	○アクティビティを紹介する。 ・授業で活用できるアクティビティを例示する。 ○例示したアクティビティを実践する場を設ける。 <b>【活動例】</b> ・教師役と児童役に分かれて、アクティビティを実践する。	・本書P59 ・絵カード(動物、国旗等) ・アクティビティに必要な教材
5分	○その他のアクティビティについて知ること。 ○研修を振り返ること。	○体験したアクティビティ以外の活動を紹介する。 ○アクティビティを体験した感想について情報交換する。	

## ○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	○授業での導入について理解すること。	○研修のねらいを伝える。  ○外国語を学ぶ雰囲気をつくる～ウォームアップ～について説明する。	・本書P58、59
10分	○授業で効果的なアクティビティについて知ること。  ○アクティビティを体験すること。	○アクティビティや絵カード等の教材を紹介する。  ○アクティビティを行う。 【活動例】 ・教師役と児童役に分かれて、アクティビティを実践する。	・絵カード（動物、果物等） ・アクティビティに必要な教材



### 教材を効果的に活用し、児童の意欲をもたせる授業

コラム

児童が主体的に学ぶ授業づくりには、魅力的な教材が欠かせません。児童の実態に合った独自の教材を作成し活用することで、児童の心をひきつけ、意欲的に取り組ませることが可能となります。また、意欲付けだけでなく、教師は児童が楽しく学べる雰囲気をつくることも意識します。

活動のねらいに合った、児童の意欲を喚起する教材の開発や工夫に努め、授業の更なる充実を目指します。